

資料 1

1 資金収支決算の状況

(1) 収入の主な概要

収入面では、地域連携の強化などにより新入院患者を確保するとともに、病棟、診療科間の調整を行うなど効率的な病床運用に努めました。

また、手術件数の増加、平均在院日数の短縮による診療単価の向上により、医業収益は前年度と比較して49.5億円上回る696.3億円（前年度比7.6%増）となりました。

(2) 支出の主な概要

支出面では、費用抑制の取組を行いましたが、高額な治療薬の使用増加を含め、医業収益の伸びに連動した材料費の増加により、医業費用は前年度と比較して25.8億円増加し、728.8億円（前年度比3.6%増）となりました。

(3) 資金収支差

医業費用の増を上回る医業収益の増を確保する一方で、重粒子線がん治療施設用地を取得するため、21.5億円を投資したことや、運営費負担金の縮減等により、平成27年度の資金収支差は、前年度と比較して0.2億円減少し、3.5億円の黒字となりました。

【資金収支】

（単位：億円）

区 分	H27 決算	H26 決算	増 減
収入	862.5	798.5	64.0
営業収益	780.0	730.9	49.1
うち医業収益	696.3	646.7	49.5
うち運営費負担金※	81.2	82.4	▲1.2
営業外収益	7.5	7.8	▲0.3
資本収入	74.6	46.5	28.1
支出	859.0	794.7	64.3
営業費用	737.0	711.5	25.5
うち医業費用	728.8	703.0	25.8
うち給与費	374.2	365.4	8.8
うち材料費	213.3	189.7	23.6
うち経費	135.5	142.3	▲6.9
営業外費用	3.4	3.7	▲0.3
資本支出	118.5	69.1	49.4
資金収支差	3.5	3.8	▲0.2

※ 営業収益の運営費負担金は高度医療等に要する経費に対する負担金であり、企業債等の利息償還に対する負担金は営業外収益に、元金償還に対する負担金は資本収入に含む。

※ 端数はそれぞれ四捨五入を行っているため、「増減」や各科目の合計が一致しない場合がある。

2 貸借対照表及び損益計算書

地方独立行政法人大阪府立病院機構の平成27年度末の貸借対照表及び平成27年度の損益計算書は、[資料3](#)及び[資料4](#)のとおりです。

当期の経常的な収益力を示す経常利益は18.4億円を計上しました。この経常利益から、臨時利益と臨時損失を加減した結果、当期総利益は17.0億円を計上しました。